

2023年度

科目名称	障害児保育
授業コード	AI305
英語名称	Inclusive Education
学期	2023年度前期
単位	2.0
担当教員	梶井 正紀 (教育人間科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	この授業では、障害の概念や発達特性、統合保育の現状と意義、家庭や関連機関との連携をとりあげます。また、障害児保育にかかわる全般的な問題を取り上げながら、子どもの発達特性を理解した上で発達に遅れや偏りのある子どもに対して実践的に取り組むことの可能な支援方法について理論を踏まえて習得します。具体的な発達支援方法を習得するために、保育における日常生活での配慮や環境設定などを事例を通して習得します。
科目に関連する実務経験と授業への活用	特別支援学校教諭や中学校の特別支援教育コーディネーター、教育支援委員会専門員の経験を踏まえて、障害のある子どもの理解と保護者支援、専門機関との連携について講義します。
到達目標	<p>ディプロマ・ポリシーとしては教育・保育に求められる専門知識と技能を体系的に理解するとともに、子どもに関する情報を分析し、子どもの育ちに即した教育及び保育方法を実践することができることを目指し、以下の目標を掲げます。</p> <p>障害のある子どもの保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障害児及びその保育について理解します。</p> <p>一人ひとりの発達上の課題に対する特別な保育ニーズの観点から援助や配慮、計画の作成、具体的な援助方法について理解します。</p> <p>障害児保育における遊びや日常生活動作を含む具体的な保育方法を理解します。</p> <p>障害のある子ども、その他の特別な配慮を要する子どもの家族支援、関連機関との連携・協働のあり方を学びます。</p> <p>また、本科目は学科のカリキュラムポリシーに掲げる「子ども理解のための発達理論や知識、教育の基礎を学ぶ科目」として基礎的な知識を得る授業です。</p>
計画・内容	<p>第1回 近年の障害児保育について（オリエンテーション）</p> <p>第2回 障害の概念について</p> <p>第3回 障害児保育の基礎・基本について</p> <p>第4回 知的障害のある子どもについて</p> <p>第5回 発達障害のある子どもについて</p> <p>第6回 肢体不自由のある子どもについて</p> <p>第7回 視覚障害のある子どもについて</p> <p>第8回 聴覚障害・言語障害のある子どもについて</p> <p>第9回 病弱・身体虚弱の子どもについて</p> <p>第10回 インクルーシブ保育について（実践事例）</p> <p>第11回 個別の指導計画及び個別の支援計画の作成について（解説）</p>

2023年度

計画・内容	<p>第12回 個別の指導計画及び個別の支援計画の作成について（演習）</p> <p>第13回 障害児の教育・保育における職員間連携・協働について</p> <p>第14回 障害のある幼児の保護者との向き合い方について</p> <p>第15回 障害児保育の今後の可能性について（まとめ）</p>
授業の進め方	<p>授業は配布資料に沿った講義と、テキストの事例を読み解くグループワークを中心に展開します。</p>
能動的な学びの実施	<p>障害のある子どもやその他の特別な配慮を要する子どもに対する保育に関する問題について調べ、障害児保育における課題を見出し、グループワークを通して考察を深めます。ディスカッションやプレゼンテーションを用いて意見を交換し、障害児保育の理解を深めます。</p>
授業時間外の学修	<p>授業前に学習内容に関して調べ、授業後には毎回授業の学びをまとめ、知識を定着させてください（合計60時間程度）。教科書の事例を読み解くワークのうち授業内で取り組みなかったワークを時間外で取り組み、障害児保育の考え方や子どものかかわり方を理解してください。</p>
教科書・参考書	<p><教科書> 尾野明美・小湊真衣・奥田訓子編著『特別支援教育・保育概論 特別な配慮を要する子どもの理解と支援』萌文書林,2019年</p> <p><参考書> 井村圭壯 編著,相澤讓治 編著『現代の障がい時保育』,学文社,2016年</p>
成績評価方法と基準	<p>授業内課題レポート・小テストの提出（30%） 専門的課題レポート（70%）</p>
課題等に対するフィードバック	<p>毎授業に求めるリフレクションペーパーのコメントに対する解説を次の授業内で行います。</p>
オフィスアワー	<p>CampusSquareを参照</p>
留意事項	<p>保育士資格取得のための必修科目です。 障害児保育と特別支援教育論は関連科目です。</p>
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業の進め方：MeetまたはZoomで授業内容を講義した後に、各自が課題に取り組み考えをまとめ、オンライン上で意見を発表し議論します。授業内容に関するコメントをWebフォームに直接入力をし、その後解説を行います。 意見の発表等の授業への態度（20%）、毎回の授業内容に関するコメント（30%）、小レポート課題（50%）により総合的に評価します。</p>